振り返り行動学びのための演習

始めに

ザ･リーダーシップ・サークルは、人や組織の成長、変革は、私たちコーチ、コンサルタント、そしてチェンジエージェント（変革の担い手）とともに始まり、私たち自身もそれを体現していくべきだという信条を持っています。人々や組織が成長し変化していくこと

を求めているからです。私たちの実践は、「言うことを自ら体現する」ことだとも言えます。

スウェーデンの哲学者、K.アンダーズ・エリクソンは「専門家のなかの専門家」であることについて熟考し、天才であることや遺伝的な才能が、パフォーマンスが優れるための証拠にはほぼならないということを示しました。

そうではなく、特に「自分が手にしたレベルをさらに超えて目的に向かって没頭し時間を惜しまない人こそが、熟達(マスタリー)やより優れたパフォーマンスを得るレベルまで成長できるのです。

エリクソンの「専門能力を成長させるための5つの要素」:

1. 学び、経験し、学んだことを実践する。
2. さらに伸ばしていく必要があるのは何か、振り返る。
3. 成長のための目的を創る。
4. その目的に到達するために、積極的に熟考し実践する。
5. さらに成長させる点を明らかにするため、
6. 自らと他者からのフィードバックを得、実践を振り返る。（3から5を繰り返す)

この演習はこれらのステップをまさに実践する仕組みで、TLCの理論の知識を深め、実践家となるためのものです。新しい学びを定着させTLCのツールを使ってより効果的にコーチングやファシリテーションをすることにお役立て下さい。この演習はいくつかの質問から成っています。必要な事の多くは、TLCCマニュアルに掲載されています。TLCのウェブサイト（英文）のResourceの情報もご参照下さい。<http://www.theleadershipcircle.com/admin>

重要**:** TLCのツールを使うためには、TLC認定プラクティショナーの資格を得ることが必要です。その一つのステップとして、この演習シートに回答し、TLCジャパンにご提出いただき、一定以上の理解を得られていることを確認させていただきます。

（このファイル受信日から2週間以内にevents@theleadershipcircle.jpまでご提出ください。）

あなたの情報について以下ご記入ください**:**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名**:** |  |
| 会社名 (任意)**:** |  |
| 住所(任意) **:** |  |
| 携帯電話 (任意)**:** |  |
| メールアドレス**:** |  |
| **TLC資格認定コース**ワークショップ参加日／場所**:** | 2020年 8月　バーチャル |

補足**:**

1. ご提出前にファイル名を次のように変更お願いいたします。RLE-お名前  
   例)RLE-Nao Inoue
2. events@theleadershipcircle.jpまでメールでご提出ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1 | LCP（360°プロファイル）をクライアントに紹介した時、「これは他の360°評価とどう違うのか」と質問されたら、どのように答えますか？LCPが他の多くの360°評価とは異なる主な特徴を4つ以上記入して下さい。 |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 2 | **LCP**の「円の上側」「円の下側」それぞれについて、何を表しているか、これらがそれぞれリーダーシップ開発のためにどのような意味があるのか、簡単に説明してください。また、LCPと「成長のステージ（発達段階）」の関係について簡単に説明してください。 |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 3 | 内側のサークルは何を示したものですか？これは外側のサークルとどのような関係がありますか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 4 | 以下の**LCP**の各項目について、その定義を自分の言葉で、簡潔に表わして下さい。 |

|  |
| --- |
| 他者との関わり: |

回答はこちらにご記載ください。

|  |
| --- |
| 自己認識: |

回答はこちらにご記載ください。

|  |
| --- |
| 本質: |

回答はこちらにご記載ください。

|  |
| --- |
| 全体認識: |

回答はこちらにご記載ください。

|  |
| --- |
| 目標達成: |

回答はこちらにご記載ください。

|  |
| --- |
| 操作: |

回答はこちらにご記載ください。

|  |
| --- |
| 自己防衛: |

回答はこちらにご記載ください。

|  |
| --- |
| 他者依存: |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| ~~5a~~ | ~~長い棒をチームで床まで下げていく演習での棒の動きを思い出して下さい。棒はどのような動きをしましたか？なぜそのような動きをしたのでしょうか？~~ |

~~回答はこちらにご記載ください。~~

オンラインワークショップにご参加のかたはこの質問はスキップしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 5b | 演習1(ワークショップ1日目、小グループで一人選び、LCPの構造を説明するように指示された演習)を思い出してください。その時、あなたにはどのようなことが起きていましたか？ あなたの「内側」には何が起きていましたか（体の反応、心のつぶやき、思い込みなど）？  「外側」の反応として、あなたはどんな行動をとっていましたか？  LCPの項目で言うと、あなたはどこから反応していましたか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 6a | パーセンタイルについて  パーセンタイルとは何ですか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 6b | **LCP**で、素点をパーセンタイルに換算するのは何故ですか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 6c | データをパーセンタイルでみることで、クライアントは何を得られるのでしょうか。 どんなインパクトがありますか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 7 | 「ネイバーズ（隣人、同胞）」について質問です。  ネイバーズには３組あります。それぞれの組み合わせはどのようなものですか？  これらは、なぜネイバーズ（隣人、同胞）と言うのでしょうか？  （2019年のコースまでは、「近くの敵」という呼び方で紹介していたものです） |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 8a | 「操作」が高く、「他者との関わり」のスコアが低い場合、「他者との関わり」よりも「目標達成」を高めていくように関わるのが良いことがよくあります。これは何故でしょうか？「近くの敵」と「最も抵抗の少ない道」の考え方を使うと、コーチとして「操作」が高いクライアントにどのような関わりをしますか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 8b | 「他者依存」が高く「目標達成」が低い場合、「目標達成」を高めるよりも「他者との関わり」に働きかけることが良い場合が多いのは何故ですか？ 「近くの敵」と「最も抵抗の少ない道」の考え方を使うと、コーチとして「他者依存」が高いクライアントにどのような関わりをしますか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 9 | 「(上司の上司、上司、同僚などの)カテゴリー別の結果で、それぞれのカテゴリーのスコアの平均が評価者全体のパーセンタイルと異なるのは何故ですか？」 このようにクライアントに聞かれたら、どのように答えますか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 10a | 「相関」、「相関係数」とはそれぞれ何でしょうか。 |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 10b | LCPのような心理的測定の場合、相関係数がどのような値であれば、弱い相関  がある、相関が在る、強い相関がある、非常に強い相関がある、といえますか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 11a | LCPにおいて「他者依存」と「目標達成」は、正の相関、負の相関、どちらですか？また、相関係数はいくつですか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 11b | この二つが、この様な相関関係にあることは、質的にはどんな意味があるのでしょうか。(「他者依存」のどのような振る舞いが「目標達成」にどのように影響していると言えますか。) 自分の言葉で記入してください。 |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 12a | LCPにおいて「操作」と「他者との関わり」は、正の相関、負の相関、どちらですか？また、相関係数はいくつですか？ |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 12b | この二つが、この様な相関関係にあることは、質的にはどんな意味があるのでしょうか。(「操作」のどのような振る舞いが、「他者との関わり」にどのように影響していると言えますか。) 自分の言葉で記入してください。 |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 13 | 以下の指標や項目についての相関係数はいくつですか？: |

|  |
| --- |
| 1. 「効果的なリーダーシップの発現度」と「操作」 |

回答はこちらにご記載ください。

|  |
| --- |
| 1. 「効果的なリーダーシップの発現度」と「他者依存」 |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 14 | 相関係数から考えると、「操作」と「他者依存」のうち、「効果的なリーダーシップの発現度」に対して、より負の方向に影響するのはどちらですか。 それは質的にはなぜでしょうか。クライアントに説明するようにお答えください。 |

回答はこちらにご記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 15 | LCP-MEに関して、以下のa,bにお答えください。 |

|  |
| --- |
| 1. サーベイの質問数は、LCP、LCP―MEそれぞれいくつですか？ |

回答はこちらにご記載ください

|  |
| --- |
| 1. LCP―MEはどんな人を対象にしていますか？ |

回答はこちらにご記載ください

|  |  |
| --- | --- |
| 15 | TLC GOの様々な資料（マニュアルや共有ファイル）をご覧になってください。これら（哲学、スキル、ツール、リソースetc.）のなかで、特にあなたにとって役立つと思うものは何ですか？またそれはどのようにあなたの役に立つと思われましたか？ |

回答はこちらにご記載ください。

ありがとうございました！

お疲れ様でした。

この学びの機会のために貴重な時間を使って下さったことに感謝いたします。

ご記入・ご提出いただいたこの課題は、TLCの担当コーチが目を通した後、結果をおしらせします。